

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力
城南学園幼稚園 園長 太田友子
園長室だより

平成26年7月3日



「見える幼稚園」をめざして
各クラスも全開！

さて、「クラスだより」シリーズ第3回は、年中組です。3歳児・5歳児と比べて歳児による違いもありますが、どの歳児にとっても大切なことなので、園全体で、日々の指導で大切に育んでいる力です。

どの力も、保育者の「仕込み」の段階があり、その指導の積み重ねの上で育まれていきます。料理の世界も教育も「仕込み」が大事です。

聴く力・記憶力

朝の会で、絵本を読んだり素話をしたりしています。そのあと必ず「どんなお話だった？」と聞き返す時間を設けています。見たことや聞いたことを降園前にもう一度問うと、よく記憶していて具体的に話せるようになってきました。集中して話を聴く力とともに、記憶する力も育ってきています。

自分で準備する力

プール遊びが始まり持ち物が多くなると、忘れ物が増えてきました。「お母さんが忘れた」という言葉も出ますが、子どもたちには自分で確認するよう話しています。しかし、すべてを子どもがするのはまだまだ難しいです。お家で一緒に確認する時間を作ってください。毎日繰り返す中で習慣化され、自分で準備する力が育っていきます。そのため、園では、降園時には必ず名称を言いながら、触って確認しています。幼児期に習慣づけるために、家庭と園と両方で継続的に行いましょう。

いのちがいちばん お：は：し

先日、幼稚園で避難訓練をしました。「お：押さない」「は：走らない」「し：しゃべらない」の意味の確認や命の大切さについて話し合いました。その話し合いの中で、「いつも走っている友だちおるで」という声があり、それは危ないなと子ども同士で話し合いが広まりました。「どうしたらいいのか」と聞いてみると「みんなで声を掛け合って止めてあげる！」という話になりました。そして、「黒板に書いたらすぐに思い出すよ」という声が出たので、今ではそれをみんなで確認し合いながら一日一日を過ごしています。私だけでなく子どもたち一人ひとりが命の大切さに気づき、安全にすごせる力を育んでいきたいと思っています。

「仕込み」の大切さ



①「仕込み」の場面です。事前に避難訓練の具体的な行動を指導しています。



②「本番」の場面で、落ち着いて正しい行動ができています。

③「最後」に、正しく避難できたことを誉めてもらって、自分たちができたことに自信を抱きます。さらに「いつでも」「お」「は」「し」を実践していこうとする意欲も喚起されていきます。

